



# 人口増対策を急ぐべき

芳賀 清 議員

## 魅力ある町づくりに取り組み

町長



子どもたちの夢ある未来は

### 人口減に歯止めを

年間100人以上の人口減少に歯止めが効かない若者向け定住化対策など人口増対策は喫緊の課題だと思いが。町長 昭和30年当時は1万5千人ほどだった人口が平成22年には8160人と大きく減少した。この60年間は過疎との戦いであった。若者定住対策として金銭的な助成ではなく、若者や人材をひきつける魅力ある町づくりに取り組み、住みよい町の情報発信に努めたい。

### 婚活の一層の推進策は

結婚適齢期を迎えても結婚できない男女が大勢いる。

る。結婚相談所など行政がサポートすべきでは。町長 「やまがた縁むすびたい」はボランティアで仲人活動する団体で、県内35人が登録しているが町内にはいない。今後結婚支援に関するニーズをみて積極的に仲人登録を支援して行きたい。

### 中高年の健康増進策は

スポーツ広場の整備によってグラウンドゴルフ愛好者が増え大会も増える。



人気が高まるグラウンドゴルフ

ているが、駐車場やクラブハウスなどの再整備が必要では。教育長 夏場はグラウンドゴルフ、冬場はクロスカントリースキーで利用されている。中高年の健康増進対策としてウォーキングやグラウンドゴルフは適しており、各団体と連携のもと、スポーツ人口増加対策を一層推進していく。総務企画課長 駐車場が手狭であることは認識している。



# 子どもの学習支援は大丈夫か

小玉 勇 議員

## 必要性を見極め判断したい

町長

### 子どもの貧困対策と学習支援は

どのような考えを持っているのか。町長 家庭の経済状況と学力、高卒後の進路、フリーター率の相関関係が学力に影響し就職後の雇用形態にも作用する社会状況があると思っている。平成26年1月17日に施行した子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づき、町としても子どもの貧困対策の重要性を認識し、国、県と連携して施策を展開していく。



大石田小 フリー参観

教育長 学習支援だけでなく、希望する部活に進めるようにすることも必要だと思っている。ひとり親家庭の子もだけでなく、町すべての子どもたちが文武に渡って伸びていくような施策を行って行きたい。

### 7月27日から始めた村山市の学習支援はどのようなものか。

教育文化課長 ひとり親家庭の児童、生徒を対象にした「子どもの自立支援事業」は家庭環境により学習が十分できない子



コミュニティ・スクールに期待

供たちに家庭に代わる環境、機会を提供するものだ。塾のように講師が教え塾生が教わるというのではなく「宿題を自分でできる子ども」を育てる発的に学習する気持ちは育てることを趣旨としている。2つの中学校学区に分けて開催されていて講師は社会人や教師志望の大学生などがボランティアとして教えている。子どもは大学生たちと遊びながら宿題をこなしているように、大学生本人にも大変良い刺激になっているようだ。

### 全国学力調査の結果はどうなのか。

教育長 小学生の成績は国、県平均よりやや低く中学生の成績は高い。とりわけ中学校の数学は約5ポイント上回っている。これは小中一貫教育、先生間の交流等が良い結果を生み出したと思っっている。小学生の成績をもっと伸ばすことができれば、中学生の成績は今年よりもっと伸びるだろうと予想している。これから期待したい。